

## 就活日誌

就職先：未定(公務員志望の就職浪人)

### 2008年(3年生)

マスコミ、地元就職という志望があった。

- 10月 ・就職サイト(2つぐらい)に登録。  
気になる企業があったらバンバンエントリー。
- 11月 ・初めて東京の合同企業説明会に参加。  
自分は東京向きではないと漠然と思う。
- 12月 ・資格を取ろうと日商 PC 検定 3 級のテキストを買う。  
結局勉強せず、受験すらもしなかった。実行力と計画性がなかった。

### 2009年(3年生～4年生)

- 1月 ・地元の合説 2 回参加。  
・地方銀行、テレビ局のセミナーに参加。
- 2月 ・地方銀行 4 社の ES 書く。  
学校でやってくれるセミナーの資料参考に。
- 3月 ・地方銀行 3 社とも一次選考(筆記&個人面接)にて不合格。  
筆記対策(SPI)不十分。面接で志望の甘さが見抜かれる。やはり面接のシミュレーション大事。どのように自分の意見を展開していくか、前日にある程度準備しておくべきだと思った。  
・地方テレビ局一次(グループディスカッション)、二次(筆記&作文)合格。  
・就活半分、バイト半分の春休み・・・だったと思う。
- 4月 ・地方新聞社一次選考(筆記&作文)不合格。  
・地方テレビ局三次(集団面接)不合格。
- 5月 ・地方新聞社 2 社一次選考(筆記&作文)不合格、1 社合格。  
・東京の医療系ベンチャー企業一次選考(グループディスカッション)不合格。  
この時期になって、周りに内定者が出てきた焦りから業界の視野を広げ始めた。しかし、採用期間終了の企業も増え始め、もっと早くから見ておけば良かったと後悔する。  
・地方テレビ局一次選考(筆記&作文&個人面接)不合格。  
・地元市役所の採用試験を勉強していないからという理由で出願せず。
- 6月 ・地方新聞社二次選考(グループディスカッション)不合格。  
・東京の情報系企業一次選考(グループディスカッション)不合格。  
・東京の食品卸売り企業一次選考不合格。  
・地方のフリーペーパー紙発行している出版社数社に直接問い合わせるが、バイト採用、又採用していないとの返答により断念。
- 7月 ・東京の営業代行会社一次選考(集団面接)不合格。

あとで「みんな就」を見て、その会社の不正が全国ニュース沙汰になっていたという事実を知り、落ちて良かったと思う。情報収集大事。

- ・ 地方住宅会社一次選考(集団面接)不合格。
- 8月 ・ 本命の地元新聞社一次選考(筆記&作文)合格。二次(役員面接)不合格。  
悔しかった。経験という志望動機が足りなかったのではないだろうかと思う。新聞記者という適性の無さを見抜かれた気がした。
- 9月 ・ 地方の合説に参加。  
・ 地方の製紙会社の採用試験(個人面接)不合格。
- 10月 ・ 地方の酒造会社の採用試験(筆記&個人面接)不合格。  
この会社の専務に「あなたは自分の地元のまちづくりがやりたいのではないか」と指摘され、自分の中にしっくりとくる。卒論を進めるなか、「地元のまちづくりに携わりたい」という想いが沸き起こっていたところだったので、そのお言葉が背中を押してくれたみたいで嬉しかった。
- 11月 ・ 地方の広告会社一次選考(グループディスカッション)不合格。  
・ 友人から 12 月下旬になったら地元で公務員試験の予備校に通うという話を聞き、自分も改めて考える。  
新卒で就職して、後々地元の市役所を受けるという道もあった。しかし、今やりたいという想いを抑えて、就職活動が続ける気になれなかった。むしろ友人のように来年の試験を見据えて予備校で勉強するという道の方が、前向きだと感じられた。自分もそのような道に突き進むほうが、自分らしい人生になりそうな気がした。  
・ 地方電力会社の子会社に ES を出すが不合格。これを見切りに就活終了。

地元の地方公務員になって、地元のまちづくりに携わっていきたい！！

## < 就活を経験して伝えたいこと、感想、反省・・・ >

### 自分の将来像を描く

なかなか難しいことなのだけれど、自分がどんな人生を歩んで生きたいかを思い描きながら、就活をしていくことが大切だと思いました。私も終始考え続けました。人生の中の23歳で自分は何ををしたいのか、28歳で何をしたいのか・・・考えるだけでも楽しいし、やはり将来像を持つことが進路を選択する最大のヒントになると思います。

### 周りの人々の支えに感謝

自分一人では就活一年間も続けることは出来ませんでした。周りの友達、家族、地元の友達、バイト先の皆様、キャリアセンターの方々・・・たくさんの人に悩みや愚痴を聞いてもらい、アドバイスをもらい、元気をもらいました。就活は自分との闘いだとは思いますが、そんな自分を後ろで応援しながら、見守ってくれる人達がいること、一緒に自分自身と闘っている就活生が大勢いることを忘れてはいけなと感じました。

## 経験は強みになる

私は小学校から新聞記者になりたいという夢があり、就活も地元のマスコミ志望本命でやっていました。しかし、新聞記者になるために何かやっていたかと言うと、正直何もやっていませんでした。大学のフリーペーパー制作サークルに入っていたとか、自分で文章を書いて投稿したことがあるとか、志望動機に力強い根拠もありませんでした。

自己分析を通して、自分は何をしてきたのか、それを生かした進路を考えることも必要かもしれません。

面接に関しても、緊張してしまう人は場数を踏むことが大切だと思います。私の場合、毎日が反省点だらけでしたが、その反省を絶対次に生かすという意気込みで臨むと、だんだん面接に対する気持ちが安定していきました。

## いつからでもスタートできる

これは今の自分を勇気づける言葉でもあるのですが、要は自分の気持ち次第でどうにでもなるのではないかと思います。まだ若いし！(笑)正直そう思わないと、先に進めない。だから、ある程度頑張って走り続けて疲れたら休めばいいと思うのです。人間ずっと休み続けると、自己嫌悪に陥ったり、休むことに飽きたりしてしまうと思うので、自然にまた走りたくなるから、そしたらまた走る。

20社近く企業を受けて、一つも内定をもらえなかった私がべらべらとこのような文章を書くのも大変おこがましいですが、一年間就活を経験出来て良かったです。悩んで泣いての日々が多い一年でしたが、この一年があったからこそ、このゼミに入ったからこそ、地元の公務員になるという道に向かってスタートをきることができます。

いろいろと悩みながらも、自分の道を模索してみてください。就活の一年間、いろんなものを吸収できる貴重な一年間だし、絶対自分を成長させることができますと思います。私も就活生という気持ちで、今年も一緒に頑張ります p( ` ´ )q